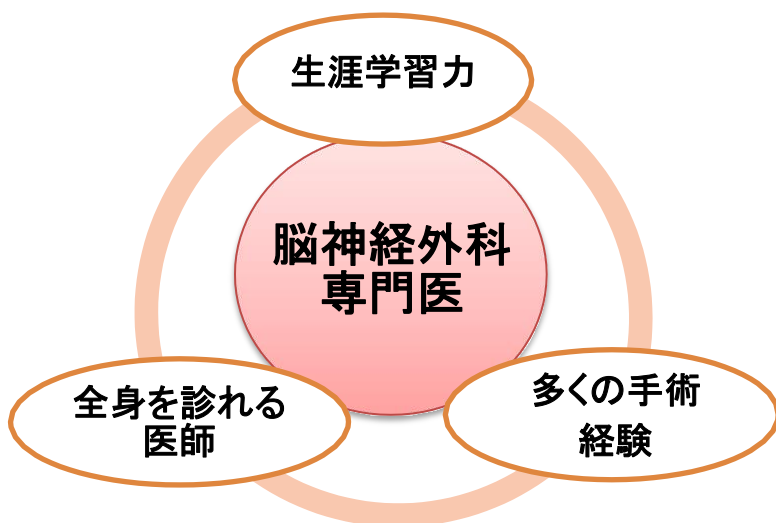


脳神経外科専門研修プログラム

脳には全ての体験がインプットされており、人間の個性を生み出す、唯一無二の貴重な臓器です。脳外科医の仕事は、この脳を含めた中枢神経系すべての機能を直接脅かす疾患を対象とし、各個人の生活と尊厳を守ること。また、脳神経外科は基本診療科の一つであり、その守備範囲は単に手術に止まりません。中枢神経系に発生する疾患の予防医学、種々の診断技術、救急医療、血管内治療、薬物療法、放射線治療からリハビリテーションまで多岐にわたっています。脳神経外科専門医に求められることは、脳を守るためにこれらを統合していく臨床力です。当科での研修プログラムは、これらの総合力、そして最先端のsub-specialityを獲得していく探究力を養成することを目的に編成されています。

■ 到達目標—その1(脳神経外科専門医の獲得)

脳神経外科の専門医は、卒後臨床研修2年間の後、4年間の専門研修を終了して、卒後7年目に獲得します。当プログラムでは、最短期間での専門医獲得を目指して、以下の3つの力を養っていきます。



受入れ人数 : 8 名
選考方法 : 書類選考, 面接



一言コメント
若い医師や医学生に夢を持ってもらえる科を目指しています。

①全身を診れる医師になること—救急の現場においても脳が診れることは重要ですが、当然それだけでは足りません。全身に目を配り、必要な時に各臓器の専門家と連携できなければいけません。さらに、患者の社会的・精神的背景まで洞察する姿勢は、脳を脅かす疾患を根本から理解し、適切な診断・治療にたどりつくための重要な武器ともなります。

②生涯学習力の養成—今標準とされている医療が最終到達点ではありません。将来の患者により良い医療を提供することも医師の責務の一つであり、大学院や留学に関しては本人の興味・希望が最優先です。

③できるだけ多くの手術経験を積ませること—専門医獲得に必要な最低限の手術経験はもちろんのこと、4年目までに開頭術を習得し、5年目以降はクリッピング術や脳腫瘍摘出術でも積極的に執刀の機会を与えるようにしています。手術を任されることが医師としての責任感を育て、向上心にもつながっていきます。

■ プログラム責任者 樋口 佳則 (教授)

TEL: 043-226-2158 FAX: 043-226-2159

E-mail: yhiguchi@faculty.chiba-u.jp

Webサイト: <http://www.chiba-neurosurgery.jp/>

千葉大学病院 総合医療教育研修センターHP

<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/>

千葉大学病院 見学のお申込み

<https://www.ho.chiba-u.ac.jp/chibauniv-resident/visit/index.html>

